

小川高校の生徒の皆さんへ 一校長メッセージ（２）

令和八年度 第四十七回 東京都立小川高等学校 入学式式辞

「すべては、一匹のネズミとの出会いから始まった」。皆さん、よくご存じのウォルト・ディズニーの言葉です。まだ名も売れず極めて貧しい暮らしをしていた若きディズニーと一匹のネズミとの出会いが、ミッキーマウスという愛くるしいキャラクターを創り出していきます。それからすべてが始まります。ディズニーは全世界の子どもたちをはじめ、すべての人々を魅了してやまない多くの作品を次から次へと生み出していったのです。

私は「出会い」という言葉が好きです。出会いには、夢と希望が詰まっています。出会いとは、何も人間だけとは限りません。一匹のネズミの場合もあるし、一冊の本、あるいは一曲の歌かもしれません。大切なことは、「出会い」が新しい価値を運んでくることです。自分を変えていく大きな要素を含んでいるのです。本日は、新入生の皆さんと新しく出会えたことに私は大きな喜びを感じています。

ただいま、三百十九名の入学を許可いたしました。本日はご多用の中、来賓の皆様を始め、多数の保護者の皆様にご臨席いただき、心よりお礼申し上げます。新入生の皆さん、改めまして入学おめでとうございます。本校は、皆さんを新たな「チーム小川」の仲間として迎えられることに、大きな誇りと喜びをもっています。これから本校生徒の一員として、ぜひ大きな志（こころざし）を抱き、夢と希望にあふれる学校生活を送ってほしいと祈念しています。本校は皆さんとの新しい「出会い」に大きな期待を持っています。「出会い」とは、新しい自分の創造だと言っても過言ではありません。人はそれぞれ生まれ育った環境が違います。したがって考え方や行動様式が各々（おのおの）異なります。ゆえに人との出会いとは、新たな価値との遭遇でもあります。これはこうあるべきで、こうでなければならない、と思っていた考え方が、新しい価値観との「出会い」によって、なるほどこういう考え方もあるのだ、と選択の幅を広げていくのです。ある人との「出会い」が古い自分を脱皮させ、自分を新しく変えていく。そういう意味からすると、人は「出会い」によって一つ成長するし、「出会い」には自分を高めることができるチャンスがあふれています。

本校は、これまで地域に根ざしながら、数多くの生徒が自分の可能性を広げ、未来へと巣立っていく場所でした。その根底には、三つの教育目標があります。一つ目は、「何事も忍耐強く努力し、あきらめない心の創造」、二つ目は、「礼節と思いやりに満ちた人間関係の構築と、社会貢献できる心の育成」、そして三つめは、「社会の変化に柔軟に対応する力と国際社会に向けて積極的に行動する力の推進」です。これが本校の掲げる揺るぎない柱です。スクールミッションでも、本校は「地域のコミュニティを支え、他者と協働し、新しい価値を創造する生徒を育成する」ことを使命としています。本校の合言葉である「小川から大海へ」は、小さな流れが集まり、大きな川となり、やがて大海へと注ぐように、皆さん一人ひとりが成長して世界へ羽ばたいていく姿を願うものです。今日ここにいる皆さんも、まさにこの流れの一滴として、これから多くの経験を積み重ね、自分だけの「大海」へと進んでいくこととなります。

本校の高校生活は、授業だけでなく、体育祭、文化祭、合唱祭など多彩な学校行事があり、仲間と協力し合いながら成長できる機会にあふれています。また、部活動も盛んで、運動部、文化部ともに所属率が高く、「自分の居場所が見つけやすい」ことが本校の大きな魅力とされています。皆さんにも、ぜひ勇気をもって一步を踏み出してほしいと思います。一步は小さくても構いません。大切なのは、「動き始めること」です。

発明家エジソンはこう言いました。「成功とは、1%のひらめきと99%の努力である」。どんな才能も、努力なくしては花開きません。本校が大切にしている「あきらめない心」とは、まさにこの姿勢です。また、哲学者ジョン・デューイは「教育とは、未来のための準備ではなく、今を生きることそのものである」と述べています。皆さんの高校生活は、将来のためだけではなく、「今」を真剣に、情熱的に生きる時間です。その積み重ねこそが、未来の力となっていきます。勉強面では、放課後講習やサマーセミナーなど、本校には皆さんを支える仕組みが充実しています。わからないことは先生にどんどん質問してください。小川高校には、「先生と生徒の距離が近く、話しやすい雰囲気」があることが特色として挙げられています。一人で悩まず、仲間や先生と一緒に前へ進んでください。

ここから始まる3年間は、皆さんの未来の基盤をつくる大切な時間です。本校のスクールミッションが示すように、自ら学び、新しい価値を生み出し、そして地域や社会に貢献する力を持つ人へと成長してほしいと思います。これから歩む道の途中には、必ず壁もあるでしょう。しかし、どうか覚えていてください。「大海は小川の一滴にあり」。つまり社会という大海の中で活躍するためには、小さな一滴である皆さん一人ひとりの存在が不可欠なのです。皆さんには、その力があります。仲間とともに学び、悩み、挑戦し、そして成長していく。そのすべての過程を、小川高校は全力で支えます。三年後、それぞれが大きく成長し、胸を張って次のステージへ進んでいく姿を心から楽しみにしています。本日ここに集った新入生の皆さんとともに、新しい歴史をつくり上げていけることを、教職員一同心から誇りに思っています。

ここで、皆さんにメッセージを贈ります。それは、「友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする」というドイツの詩人であり劇作家であったシラーの言葉です。これは何も若者だけではなく、すべての人の共通の思いです。共に喜びを分かち合い、共に悲しみを分かち合う友人を持つことは、人間にとって最大の宝を手にとったことになり、生きがいそのものにもなるでしょう。ちょっとしたきっかけが、深い愛情の絆につながっていく。友情とは、その瞬間が咲かせる花とも言えるでしょう。そして時間が実らせる果実でもあります。大切に育てていかななくてはならない植物なのです。その果実が美しく、かつ栄養分に富む美味しい果実であり得るかどうかは、私たちの努力にかかっています。私も高校時代に出会った友人と今でも交流を続けています。私自身、友情を通して少しでも人間的に成長したいと今も考えています。皆さんが今日から始まる高校生活の中で出会う友人と切磋琢磨しながら、何事もやり抜く力を一緒になって身に付けてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。高校の三年間は、これからの人生の方向を決定する大切な時期であります。思春期の只中において、悩み苦しむ時期でもあります。私たち教職員は、お子様が自ら進むべき道を自分の力で切り拓いていけるよう、全力を尽くして支援してまいります。今の社会は子どもたちが自分で考え、判断し、失敗や成功を経験するチャンスが奪い過ぎていて感じることもあります。高校時代の挫折や失敗は取り返しのつかないことではなく、未来への蓄えだと考え、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、相互に信頼し連携し合い、子どもたちの豊かな個性を伸ばしていきたいと考えています。私たち教職員一同、皆様からお寄せいただいた大きな期待をしっかりと受け止め、新入生の皆さんの成長と大きな志の実現のために一丸となって尽力することをここにお誓い申し上げます。新入生歓迎の式辞といたします。

令和八年四月七日

東京都立小川高等学校長 博田 英明